

学生対象・リハビリ研修

リハビリ学科：理学療法・作業療法・言語聴覚療法



アメリカでリハビリ研修を行うメリットは？

＝理学療法士になるには博士課程、作業・言語療法士になるには修士号取得が必要。高度な知識を持ったセラピストの活躍現場を体感！

✓ **患者の自立と社会復帰をめざすアメリカ医療のキーとなるリハビリ療法士**

平均入院日数が5日前後のアメリカでは、術後翌日からリハビリが開始されます。安全な自宅復帰を可能にするため、回復評価や痛みレベルをモニターしながら、専門的なリハビリを行います。医師が常駐することが少ないため、リハビリのスペシャリストとして一任されて活躍しています。

✓ **リハビリ療法のリサーチが進んでいる**

特に脳損傷・脊椎損傷などのリハビリ医学のリサーチで世界的に有名なアメリカ。これらの最新技術の現場活用場面を視察できます。

生の声を聴き、仕事の喜び・大変さ、充実感をしっかり感じとる事ができます。

≫ 研修プログラムのメリット

全米でベスト10に入る国立リハビリテーションセンターの現場視察。最先端のリハビリ機器のデモ体験や実践的なハンズオンメニューが豊富。

「先生に治してもらおう」ではなく、「自分がリハビリで治す」ことを促すアメリカのリハビリ療法士。患者様が主体的にゴール設定をし、家族も一緒にセラピーに関われるようにリードする現場を体感。

理学療法士・作業療法士・言語療法士による講義。日本語の講義資料を用意しますので、実際の業務内容・一日の流れなどがよく理解でき、ディスカッションの時間もたっぷり。

ナーシングホームで患者様に対するボランティア、病院で療法士によるハンズオンを通じての交流セッション。英語に自信がなくても、現地日本人スタッフがしっかりサポートするので安心。

病院視察の前に、米国と日本の病院の比較、医療保険制度などのバックグラウンドを日本語でしっかり予習、現場スタッフの話がよく理解できる。通訳もとても分かりやすいと評判。

予算とニーズに合わせて、日程や研修内容を自由にアレンジ可能。
研修終了後には、アメリカリハビリ研修修了書がもらえます。

ミレニア・エデュケーションのご紹介

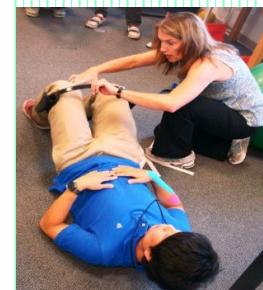
長年の米国ヘルスケア業界での医療ネットワークを活かした、現場奥深くまで入り込んだ教育研修を提供。事前のニーズ把握から日米医療システムの比較解説、現場通訳までのトータルコーディネートにより、高度な専門性と高い満足度を保証いたします。

学生対象・リハビリ研修

リハビリ学科：理学療法・作業療法・言語聴覚療法

✓ サンプル・スケジュール

		午前	午後
1	月	日本発 ロサンゼルス着	ロサンゼルス市内観光後 ホテルチェックイン
2	火	研修オリエンテーション 講義① ◆ 米国医療制度概要 ◆ 各医療サービスと患者の流れ（急性期病院、準急性期病院、専門外来、在宅医療等の連携）	現場視察① ◆ 大手総合病院（急性期） - ICU - 一般病棟 - リハビリ部門 - 療法士による講義 （勤務体制、実際の業務内容、研修制度、他）
3	水	講義② ◆ 米国医療保険制度と近年の医療保険改革 - 公的保険制度 - 民間保険制度 ◆ 米国ホームヘルスケア（在宅医療） - 在宅医療でのリハビリ療法士の役割 - リハビリのゴール設定と患者・家族教育	現場視察② ◆ リハビリ専門病院 - ICU - 一般病棟 - リハビリ部門（脳外傷、脳卒中、脊髄損傷など） （患者セッションの見学、リハビリ技術の解説、他） - リハビリ技術センター・モデルルーム （先端補助器具の紹介・住宅改造モデル） - ハンズオン実践トレーニング
4	木	講義③ ◆ 理学療法士による講義 - 米国で理学療法士になるための過程 - 職業展開 - 業務内容・役割 - 最新テクニックの紹介、症例検討	現場視察③ ◆ 小児専門病院 - リハビリ病棟 - リハビリジム - リハビリ部門管理者との面談 （患者・家族への教育、他職種との連携、他） - 一般病棟（リハビリと看護の連携）
5	金	現場視察④ ◆ 大学病院 - リハビリ部門サービス概要 - 各療法士の業務内容、セラピーの流れ - セラピーセッションの見学 - リハビリ管理者との面談、質疑応答	- 大学キャンパスツアー
6	土	終日自由行動	
7	日	終日自由行動	
8	月	講義④ ◆ 作業療法士による講義 - 米国で作業療法士になるための過程 - 職業展開 - 業務内容・役割 - 最新テクニックの紹介、症例検討	現場視察⑤ ◆ 外来リハビリテーションセンター - センター内見学 - 各種リハビリ機器の紹介 - リハビリセッション見学 または リハビリ機器のデモ体験
9	火	現場視察⑥・ボランティア ◆ 総合シニアコミュニティ - ナーシングホーム（療養型施設） - 認知症ユニット - 介護施設 - リハビリ部門 - 理学療法士・作業療法士との面談 （脳卒中リハビリ、認知症患者への対応、他）	- ボランティア活動・入居者との交流 （学校紹介、日本の歌・遊びの紹介、入居者の移動介助など） ◆ 研修のまとめ、質疑応答 ◆ アメリカリハビリ研修 修了書授与
10	水	ホテル チェックアウト ロサンゼルス発	
11	木	日本着	



視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成：ミレニア・エデュケーション Copyright © Millennia Education 2018 本紙の無断複写・改造を禁止します。

>> お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション

MILLENNIA EDUCATION

info@iryo-kenshu.com